2年生（2年生学級通信「イッピー！」より抜粋）

【4月21日号より】

暖かい日を選んで，みんなで校庭に出て「春」を探しました。ぱっと目につくのは花壇の花ですが，足元をよく見ると，寒い時期には見られなかったものがたくさん。みんな校庭のいろいろな場所で観察をしました。一口に「春」と言ってもいろいろなものがあります。はじめは「桜の花がなくなったから，春はもうないよ」と言っていた子どもたちもいましたが，いろいろな感覚を使ってよく観察すると，花や虫だけでなく，日光の様子や空気の暖かさ，鳥のさえずりなど，春はたくさん見つかりました。

【5月6日号より】

月曜日，1 年生を「学校あんない」につれていってあげました。あらかじめみんなでピックアップした教室を順番に巡り，それぞれの場所で，担当の 2 年生がその場所の用途や気をつけてほしいことを説明しました。（中略）

「あんない」を終えて教室に帰ると，「緊張した～」という声が多く聞かれました。これまで小学校では「してもらう」ことの方が多かったと思いますが，だんだん「誰かのために行動する」という機会が増えていきます。それは，子どもたちにとってきっと嬉しいことに違いありません。こうした一つ一つの経験が，子どもたちの心を育てていくのだろうと思います。

【5月13日号より】

今週は，野菜の苗を植えました。先週がんばって草取りをした畑には，みんなで協力して世話をする野菜を植えるということで，話し合いの結果，さつまいもときゅうり，とうもろこしを植えることになりました。せまい畑なので，せいぜい２種類かな，と思っていたのですが，なかなか２つに絞ることができず，結局３種類育てることになりました。（中略）

畑に植えた翌日には，個人の植木鉢に苗を植えました。ミニトマトかこどもピーマンのどちらかを選んで植えました。「自分の」野菜というのは，関心がひと際高いようで，丁寧に作業をしていた子どもたちです。野菜の成長を観察しながら，毎日の世話をがんばってほしいと思います。

【6月7日号より】

笠柄町方面と，漁港方面に，２日間にわたって「まちたんけん」に出かけました。校区とは言っても，子どもたちが自分で行ったことのある範囲はそれほど広くはないと思います。「ここ，初めて通るな」「こんなところがあったんだ」「何をするところかな」と，言いながら楽しく「たんけん」しました。

どちらの方面も，目的地は公園です。そこまでの道中で，子どもの視点でいろいろなものを見つけました。カーブミラーの形に興味をもったり，消火栓の表示を見て消火栓の場所を探したり，路面にかかれているラインに注目したりと，何だか来年の社会科の学習につながりそうな発見もたくさんありました。また，畑作業をしている方に話しかけ，畑の野菜について教えてもらうなど，地域の方との交流もありました。学校に帰ってから，見つけたものを紙にかいてもらったのですが，時間が足りないくらい，何枚もかいていた子どもたちです。

【6月27日号より】

暑くなってきて，畑のきゅうりが次々に実をつけています。一日収穫を伸ばすと育ちすぎになってしまうくらいぐんぐん成長しています。金曜日には，これまでに収穫したきゅうりをみんなで食べました。自分の食べる分を自分で切ってお皿に盛り付けました。事前に「何の味で食べたい？」と聞いていたのですが，「塩」「塩昆布」ということになり(渋い…)，それぞれ好きな方の味で食べました。両方を使った人は，「しょっぱい…」と少し後悔していましたが，一生懸命草取りをして，毎日交代で水やりをしてきたきゅうりですから，味わって食べていました。

きゅうりの他に畑にはとうもろこしを植えています。一株に一つの実となるように間引く必要があるので，その間引いた実も茹でて食べました。「ベビーコーン」と呼ばれるものですが，ベビーコーンの皮をむく作業も，「葉っぱがいっぱいだ」「ひげが髪の毛みたい」とにぎやかに行いました。

【7月5日号より】

毎日交代で水やりをしてきたとうもろこしが，りっぱに実りましたので，先週，いくつか収穫してみました。皮をはいでみると，きれいな実が並んでいます。畑で，思わず「やったー！」とみんなで叫んでしまいました。ある程度収穫できたら，茹でてまたみんなで味わいたいと思います。梅雨が短く，水の不足が懸念されましたが，何とか収穫できそうです。

植木鉢のミニトマトやこどもピーマンも，実をつけています。中には，何日も水をやっていないという人もいましたが，毎日夕方に担任がしていた水やりでどの株も何とか命をつないでいたようです。「もう，先生は水やりをしないからねっ」という私の宣言を聞いて以降，みんな朝の水やりをがんばっている様子です。これからどんどん実が熟していきますので，収穫の喜びを感じられることと思います。